



「エンドユーザーや市場のニーズに
 応えられる花作りを」
 マルヨシ花園のモットーです。



就農のきっかけ

夫の実家が菊農家であったため、結婚を機に就農。結婚前は美容師で、農業に対するイメージが全くなかったことがかえて良かったと思います。現在は夫、母、従業員11名で、枕崎が菊の産地であることを皆さんに知ってもらうために頑張っています。

農業女子プロジェクトに入ったきっかけ

近所の同じ菊農家のメンバーさんから紹介されたことがきっかけです。経営や雇用の仕方など、いろんなことを学びたいと思い加入了。

農業女子プロジェクトに入ってよかったこと

様々な業種の農業に携わる女性と話す機会が
 でき、新たな発見や視野が広がりました。花は6次産業化に関しては弱いので、会員の方からの情報はとても参考になります。

品目：輪ギク（葬祭用）、マム（スプレーマム・ピンポンマムなどの洋ギク）
 2.1ha（40力以上のハウス）
 販売先：9割を県外（九州各地、関東、北海道）の市場へ出荷。その他JAを通じて各店舗へ。
 特徴：農業に対する従来のイメージを変え、休みの取れる働きやすい職場作りのためにハウスに自動換気システムを導入し、機械でできることは機械で、人にしかできないところは人の力でと、省力化に取り組んでいる。また、効率的な経営を行うために出荷量や販売先のデータをシステム管理している。



maruyoshi
k a e n

目標

農業を、花作りをやってみたいという人を増やしたい。給与や雇用条件を充実し、「マルヨシ花園に新卒で入って、家を建てました！」という人が出てくるのが夢です。



冷蔵庫に保管された花々



染めマム



様々な菊が咲き並ぶハウス